



CLUB OFFICE
 京都YMCA 三条本館
 京都市中京区三条通柳馬場角
 TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
 "TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2019 7

Bulletin
 2019.7.1発行
 第34巻第1号通巻403号

主題
国際会長 はい、私たちは変えることができる “Yes we can change”
アジア会長 アクション “Action”
西日本区理事 風となれ、ひかりとなれ ころろ豊かにあるために 輝くために
京都部部長 限界を超える “Y's Power? No limit!”

聖句 苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む。
 ローマの信徒への手紙5章3節-4節



「第34代会長を拝命して」

第34代会長 小野 敏明

7年ぶりに会長職に返り咲き、第34代会長を拝命致しました。この一年、京都プリンスワイズメンズクラブの伝統を継承し、発展させることが一番の責務だと認識しております。四十にして惑わず、力の限り会長職を努めさせて頂く所存です。クラブメンバーの皆様には一層のご指導、ご鞭撻並びにご協力を賜りますように宜しくお願い申し上げます。

京都プリンスワイズメンズクラブの設立から34年目を向かえ、今期は意義ある「クラブ設立35周年」を迎えるために重要な一年間と位置づけ、クラブを守る為に必要な改革を少しずつ始めてゆこうと考えております。

その思いから今期の会長主題を「守るために変えてゆこう、少しづつ」とし、副題に「have a good sense of balance」を添えました。

副題には、メンバー間で常にクラブの良識(goodsense)を模索・共有し、伝統(良識)に裏づけされた平衡感覚(balance)を駆使しながら、得体の知れない未来に向かってクラブを守り、歩みを進めてゆく。良識や平行感覚といった「文化(態度・心構え)」は過去からやってくるものであり、未来からは決してやっこない。クラブの文化を求めて34年間の歴史を省みることは、すなわちワイズメンズクラブの文化を省みる事でもあり、ひいてはYMCAの文化を省みる事に繋がってゆけばとの思いを込めました。

主題には、不確実な未来へと歩みを進めてゆく上で、常に改革が必要であること、その改革はクラブを保守するための改革であることが肝心であるとの思いを込めております。また、急激な改革は組織に混乱をもたらし、本質を見失う事があります。将来への歩みを確実なものとする為には『少しづつ』実行してゆく事が大切であり、結果として一番の近道ではないかと考えます。

上記の改革を実行すべく、各委員会、役員会、三役会の運営方法、また例会の運営方法などメンバーの負担を軽減し、今以上にメンバー間の交流が図れるクラブライフを提案し、「少しづつ」変えてゆく所存です。「交流なくして奉仕なし。出席なくして交流なし」長い一年になると思いますが、良識ある16名のメンバーと共に活動できることを大変心強く思います。

最後に、今期で入会13年目を迎えました。最近ではクラブは勿論、ワイズメンズクラブやYMCAに対して深い愛着を覚えるようになりました。メンバーの皆様、不確実な未来へ向けて、ともにプリンスクラブを守り伝えてゆきましょう。そして、まずは意義ある35周年に向けての確実な一歩を共に歩んでゆきましょう。どうか一年間、宜しくお願い申し上げます。

会長主題

**守るために
 変えてゆこう
 少しづつ**

会長 小野 敏明
副会長 廣井 武司
 今西 英隆
書記 岸 裕也
会計 飯尾 豊
ネット会長 小野 瑞穂

強請月間

Kick off・EMC-C

7月 例会案内

7日(日) サバエワーク
 8時45分集合。子供たちのキャンプに備えて、サイト内を安全な場所にしてください。

17日(水) 定時総会
 今期の我々の活動が、より有意義なものになるように、みんなで検討いたしましょう。

例会出席

6月第一	15名
6月第二	16名
在籍者数	16名
メーキャップ	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	25,500円

ファンド

	0円
累計	406,062円

ニコニコ

6月第一例会	3,000円
6月第二例会	0円
累計	40,000円

6月第一例会 プラスワン例会

2019/6/5
廣井 武司

今期最終の通常例会は、今西ドライバー副委員長と岸ドライバー委員の企画、立案で実現しました。わがプリンスクラブでは久しく行っていなかったプラスワン例会です。

事前にメンバーには誰かゲストをお連れくださいとお願いもされ、登録費も2000円というゲストに配慮した設定です。今までの殻を破り、新しい発想で行われた例会になりました。

ワイズメンズクラブをゲストに楽しんでいただくこのプログラムが今西ワイズの司会でスタートしました。今回は9名のゲストがお見えです。紹介者がゲストを紹介することから始まり、終わると紹介されたゲストからも一言という流れ、途中会長からのお話もはさみながら8名のワイズと9名のゲストの紹介スピーチで会場の雰囲気もほぐれたように感じました。

ゲストにも一言いただくことにより次回お会いすることが楽しみになりました。これで終わるのではなく今が始まりです。みんなでサポートをお願いします。

ゲストをお連れ頂いたメンバーに感謝するとともに、クラブの明日のためにみんなで力を合わせて35周年、プロジェクト30を目指しましょう。

今期ドライバー委員長として、大切な例会を預かり会長のドライバーにかける思いをしながら、「例会の充実度の低下」「とにかく例会をこなしているという現状」などメンバーの声があり本当にメンバーの皆様に対し申し訳なく、力不足を反省いたします。

6月第一例会のために忙しい中、頑張っていたいただいた今西ワイズ、岸ワイズに感謝いたします。



6月第二例会 引継例会

2019/6/29
田中 邦昭

宇高会長がピンスポットライトで入場、全員拍手にてお迎えしました。ゲストに親クラブの京都パレス会長大森夏彦ワイズ、子クラブの京都ウェル会長中村典子ワイズ、同書記・次次期京都部部长の中村隆司ワイズの出席を頂きました。

宇高会長の挨拶でクラブ員に一年間の活動に感謝を述べられました。来賓の挨拶に大森夏彦会長と中村典子会長からお言葉を頂きました。食前の感謝に引き続き小野次期会長より乾杯の御発声がありました。食事後一年間の歩みをスライドで振り返りました。今期は岸ワイズを新しい仲間を迎える事が出来ました。6月の西日本区大会は京都で開催されプリンスクラブは以下の表彰を獲得しました。

- CS献金100%達成賞、
- FF献金100%達成賞、
- TOF優秀クラブ賞第三位、
- CS/FF/TOFトリプル達成賞。

続いてクラブ表彰と三役の引継ぎを行いました。小野次期会長より主題「守るために変えてゆこう、少しずつ」のもとに1年間長かったと感じる年にしたいと表明されました。来期はもっと新しい仲間を迎えて35周年を迎えたいと願っております。



第22回 西日本区大会に参加しました。

2019/6/22-23
宇高 史昭

2018～19年度 第22代西日本区遠藤通寛理事期の西日本区大会が、京都トゥービークラブがホストのもとで6月22日～23日の2日間、ロームシアター京都をメイン会場に開催されました。

私は今回で5回目の参加ですが、参加回数を重ねる度に、見知った顔が増えていくことを実感します。まだ顔と名前が一致する方の比率が低いのは、交流が浅いためでしょうか。はたまた年のせいでしょうか？いずれにしても出席を重ねてカバーしたいと思います。会わないと忘れてしまいますから…。

さて、初日は大会に先立ち京都市国際交流会館で行われた区の代議員会に出席しました。こちらは昨年に続き2回目です。西日本区所属の101クラブの会長と9部長、区理事などの役員一同が年に一度集まる会議で、事業報告、中間決算・監査報告の承認や次期理事、役員、次々期理事候補者の選任、次期予算案の承認、次回区大会の承認など理事提案のとおり全議案が承認され、終了しました。終了後は用意されたバスで急ぎ本番のロームシアター京都へ移動。

西日本区大会は、例年どおりクラブバナーセレモニーで始まりましたが、従来配られていたプログラム等はペーパーレス化され、電子媒体に掲載される方式に。その代わりに、会場内に「新聞」が置かれ、来賓あいさつや各種インフォメーションは、紙メディアで伝える斬新な方法でサービスが行われていました。懇親会もタレントを呼んだステージショーもなく、生演奏で会場内を和らげ、参加者が互いに会話を弾ませるような形で進められましたが、ホストの京都トゥービークラブらしく、両日にわたってムービーを活用したビジュアルな演出は圧巻でした。近未来の情報伝達はスマホ・ムービーですから、参加者が楽しめるように、若いメンバーにも受け入れられるようにメディアを上手く活用した、かつコスト配分された運営がとても新鮮な大会でした。なお、表彰は別欄をご参照ください。

第22回 東日本区大会に参加しました。

2019/6/1-2
岡西 博司

今年の東日本区大会は、5月31日理事杯争奪ゴルフ大会(若洲ゴルフリンクス)と前夜祭、6月1日は東日本区大会と懇親会、6月2日は理事引継ぎ式、というような段取りで、場所は、代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。参加者約400名でした。

今回の大会のホストクラブは、僕達のクラブとDBC関係にある、東京サンライズクラブが中心となって運営されました。何としても、これはお手伝いに行かねばならない。強い決意の元、以前から「何でもするからね。きっと我がクラブから大勢参加すると思うよ。」と書いていたが、……。せめて僕だけでもと、30日から現地に入り、31日のゴルフ、前夜祭、そして、翌日からはスタッフの一員として、同じポロシャツを着て、舞台設営のスタッフの一員として働いてきました。

サンライズは僕たちのクラブとメンバー数も似ており、年代層も似ているという状態で、きっと大変だろうなと思っていたのでした。所沢クラブ、富士五湖クラブ、武蔵野多摩クラブのメンバー達の応援もあり、多少のトラブルは有っても、スムーズに流れてゆきました。最後に、スタッフ全員で舞台の上に入り、参加者の皆様の拍手を受け、充実感のうちに終わることが出来、来られて本当に良かったと思った4日間でした。

僕自身、何度も東日本区大会にも参加したりして、東日本区の多くのメンバーとも顔見知りであることもあり、結構充実した4日間でしたが、西日本区とは一味違った雰囲気もあり、運営の仕方も多少違って、少し違和感を感じる方もおられると思いますが、それはそれ「郷に入っては郷に従え」と言う事で良いのではないかと思います。

まだ東の雰囲気等に接しておられない方々も多いと思いますが、せっかくDBCを結んでいるクラブも有りますので、交流の機会を楽しんで頂けたら、よりワイズが楽しくなるのではないかと思います。



1. サマーキャンプ・サマープログラム受付
 夏休み中の子ども達のためのキャンプとスイミング・体操のサマープログラムのお申込み受付中です。
 ぜひご参加ください。
 お申込み先: 京都YMCAウエルネスセンター
 (Web) <https://e-ymca.appspot.com/kyoto/index>
 (Tel) 075-255-4709

2. サバエ秋祭 実行委員会
 サバエ教育キャンプ場の周辺地域の子ども達やそのご家族との交流、キャンプ場の周知を目的に、今秋9月15日(日)「サバエ秋祭」を開催します。つきましては、各ワイズメンズクラブより実行委員を1名選出いただき、以下の2回の実行委員会へのご出席をお願いいたします。
 実行委員会日程: 第1回 7月8日(月)19:00~(60分程度) 「企画の説明およびご協力依頼」
 第2回 9月6日(金)19:00~ 「屋台出店、状況確認及び当日役割分担 他」
 出欠締切: 6月30日です。まだのクラブはご連絡をお願いいたします。(担当: 中村)
 TEL: 075-255-4709 FAX: 075-255-2087
 E-mail: nakamura@kyotoymca.org

3. 英会話サマースクール・親子英語クラス受講生募集中
 英語学校では夏休みを英語環境で有意義に過ごせるサマースクール(年中~小4、2日間)や、親子で楽しく英語に親しめる親子英語クラス(2歳児・3歳児のお子様と保護者、全4回)の受講生を募集しています。講師はいずれも外国人(英語ネイティブ)講師が担当します。お気軽にお問合せください。
 お問合せ先: 京都YMCA英語学校
 TEL: 075-255-3287 <http://kyotoymca.or.jp/english/>



6月度 役員会報告	7月 スケジュール	7月
<p>報告事項 ●次期京都部EMC事業懇談会が、7月26日(金)ホテルモントレ京都で開催 ●スイカファンドのご協力をお願いします。申し込み締め切りは、7月13日です。 ●アジア太平洋地域大会が、7月19日(金)~21日(日)まで、仙台で開催されません。</p> <p>承認された事項 ●次期事業計画案及び予算案を定時総会資料として提出する件</p>	<p>7日(日) サバエワーク 9:00 京都YMCAサバエキャンプ場 17日(水) 第二例会 定時総会 19:00 グランドプリンスホテル 19日(金)~21日(日) アジア太平洋地域大会 宮城・仙台国際センター 22日(月) スイカファンド 京三運輸・廣井事務所 31日(水) 役員会 19:30 京都YMCA</p>	<p style="text-align: center;">3日 田中 邦昭 6日 榎木 徳子</p> <p style="text-align: center; background-color: #e0e0ff; padding: 5px;">編集後記</p> <p style="font-size: small;"> 今期は、ブリテン委員長を森が担当いたします。 出来るだけ早い目に原稿依頼を致しますので、締め切りまでの投稿をお願いいたします。また紙面での発行は致しませんことをご了承ください。 </p>